PLAY/GROUND Creation #3『The Pride』テキレジリスト ~~テキスト~~→カット　テキスト→追加　ページ番号の記載がないのでご注意ください

B5頁	場-No.	役名	台詞	
1-1	**1-6**	**Philip**	いろいろ聞いてるよ。	7/1
	1-7	**Oliver**	~~え？~~いろいろ	7/1
	~~**1-8**~~	~~**Philip**~~	~~君のこといろいろ。~~	6/30
	~~**1-9**~~	~~**Oliver**~~	~~まいったな。~~	6/30
	~~**1-10**~~	~~**Philip**~~	~~全部いいこと。~~	6/30
	~~**1-11**~~	~~**Oliver**~~	~~ならよかった。~~	6/30
	1-15	Oliver	その必要はないよ。	6/24
1-3	~~**1-40**~~	~~**Philip**~~	~~氷と水？~~	6/30
	~~**1-41**~~	~~**Oliver**~~	~~ぜひ。~~	6/30
1-4	1-53	Philip	まあ、おかげで彼女は大忙し。妙な生きもののスケッチがあちこちに散らばってる。このあいだなんか、ぎょっとする絵がバスルームにあった。頭が二つあるアンテロープみたいな。~~実にそそられる。~~	6/24
1-6	~~**1-96**~~	~~**Philip**~~	~~お出ましだ。~~	6/30
	1-176	Sylvia	でもその二年後、~~ロジャーが――~~	6/30
1-10	~~**1-177**~~	~~**Philip**~~	~~兄のね。~~	6/30
	~~**1-179**~~	~~**Philip**~~	~~事故でね。~~兄のね。	6/30
1-11	~~**1-187**~~	~~**Sylvia**~~	~~フィリップはそういう突拍子もないことを考えるの、移住だなんて。~~	6/30
	~~**1-188**~~	~~**Oliver**~~	~~興奮するね。~~	6/30
	~~**1-189**~~	~~**Sylvia**~~	~~オーストラリアとか、カナダとか、そういうところ。~~	6/30
	~~**1-190**~~	~~**Philip**~~	~~新天地へ。~~	6/30
1-13	~~**1-241**~~	~~**Oliver**~~	~~大した話じゃないよ。何ならまたいつか。~~	6/30
	~~**1-242**~~	~~**Sylvia**~~	~~そこでオリヴァーにあることが起きたの。神秘体験って呼んでもいいかしら？~~	6/30
1-14	1-259	Philip	いつの日かね。	6/23
	1-260	Oliver	景色がね、あの構図。~~実にうっとりする。~~とても、とても劇的で。山の高いところにいるから、峰を見上げれば雪が残っている、でも眼下を見渡せば、斜面に広がるオリーブの林が銀に輝いて、海が見える。	6/30
	1-262	Oliver	コリント湾の水面が見える。そこには何か目を見張るものがあるんだ。つまり、真に、真に美しいもの。するとわかってくる、なぜギリシャ人はそこを神託を聞く場所に選んだか。たぶんこれほど美しく静かな場所なら何かの訪れを感じられる。自分の時間から連れ出してもらえる、時間のそとへ。~~より大きな絵が見える、というか。~~	6/30
	1-277	**Philip**	~~どうせ豚に真珠~~だよ。~~~~	6/30
1-15	1-280	Oliver	うん、いつの日か、何年も何年も先のことかもしれないけれど、いくつかのことがらが理解されるようになる、~~僕らに具わったいくつかの側面についてもっと深く理解される、~~いま僕らが感じる困難も、いま僕らがしがみつく恐怖も、いま僕らが眠れない夜も、無駄ではなかったと思える日が来る……その時代を生きる人々は、五十年先、五百年先かもしれないけれど、その理解のおかげで幸せになってる、賢くなってる。より善き人間に。	6/30
1-16	1-281	Sylvia	素晴らしくチェーホフ的ね。	6/30
2-6	2-90	Man	でもキモ~~くてさ。~~いの。	6/30
2-8	~~**2-126**~~	~~**Philip**~~	~~マジでふざけんなよ。~~	6/28
	~~**2-127**~~	~~**Oliver**~~	~~これはべつに……~~	6/28
	~~**2-128**~~	~~**Philip**~~	~~俺はてっきり……~~	6/28
	~~**2-129**~~	~~**Oliver**~~	~~ヤベッすねー~~	6/28
	2-141	Philip	いい。~~すぐ行く。~~	6/28
2-9	~~**2-142**~~	~~**Oliver**~~	~~ゆっくりどうぞ。~~	6/28
	~~**2-143**~~	~~**Philip**~~	~~ベッドルームにある。~~	6/28
	~~**2-144**~~	~~**Oliver**~~	~~うん。ベッドの脇。~~	6/28
	~~**2-145**~~	~~**Philip**~~	~~すぐ終わる。~~	6/28
	~~**2-146**~~	~~**Oliver**~~	~~オッケ。~~	6/28
2-10	~~**2-162**~~	~~**Philip**~~	~~終わり。~~	6/30
	~~**2-163**~~	~~**Oliver**~~	~~よかった。~~	6/30
2-11	~~**2-167**~~	~~**Philip**~~	~~どうかな。~~	6/30
	~~**2-168**~~	~~**Oliver**~~	~~お願い。~~	6/30
	~~**2-170**~~	~~**Oliver**~~	~~ああ、あれ。~~	6/30
	~~**2-171**~~	~~**Philip**~~	~~そう。~~	6/30
2-12	~~**2-188**~~	~~**Oliver**~~	~~お願いいて。~~	6/30
	~~**2-189**~~	~~**Philip**~~	~~いたくない。~~	6/30
	~~**2-190**~~	~~**Oliver**~~	~~お願い。~~	6/30

2-15			~~間。~~	6/30
	~~2-225~~	~~Oliver~~	~~だめ。~~	6/30
			~~間。~~	6/30
	~~2-226~~	~~Oliver~~	~~オッケー。こういうことなんだ。自分でもわからないことがあって。わかりたいけど、わからない。何かが僕のなかにある、ってゆーか。僕のＤＮＡのなかに。~~	6/30
2-16	~~2-227~~	~~Philip~~	~~なんなんだよ。~~	6/30
2-18	~~2-268~~	~~Philip~~	~~君はあばずれだ、オリヴァー。頭悪すぎるあばずれだ。~~	6/30
	~~2-269~~	~~Oliver~~	~~ありがとうございます。~~	6/30
	~~2-270~~	~~Philip~~	~~どういたしまして。~~	6/30
2-19	~~2-292~~	~~Philip~~	~~どうせ男どうしだもんなっ、て考えた。みんな言うよね？　男どうしだからだ。ゲイだからじゃない。男だから。男だからしょうがない。~~	6/30
	~~2-293~~	~~Oliver~~	~~たしかにみんな言うね。~~	6/30
	2-294	Philip	~~だけど俺には自分の感情しかわからない。~~あの晩ブリュッセルから戻ったとき、話聞かされたあと、ベッドに寝転んで天井見てた。あんな孤独を感じたのは生まれてはじめてだったよ。	6/30
2-22	2-319	**Philip**	~~行かないと。~~	6/30
	2-320	**Oliver**	~~うん。~~	6/30
	2-321	**Philip**	~~もういられない。~~	6/30
	2-322	**Oliver**	~~うん。そうだね。~~	6/30
3-1	~~3-9~~	~~Sylvia~~	~~今夜は楽しかった？~~	6/28
	~~3-10~~	~~Philip~~	~~実に楽しい夜だった。~~	6/28
	~~3-11~~	~~Sylvia~~	~~本当に？~~	6/28
	~~3-12~~	~~Philip~~	~~ちょっと酔っ払った、あのひどいワインのせいだな。~~	6/28
	~~3-13~~	~~Sylvia~~	~~三人ともよ。~~	6/28
	~~3-14~~	~~Philip~~	~~でも申し分のない夜だった。~~	6/28
			~~間。~~	6/28
3-2	~~3-20~~	~~Philip~~	~~無口だと思ったなら、謝るよ。~~	6/28
	~~3-21~~	~~Sylvia~~	~~そうじゃないの。責めてるんじゃない。ただの観察。~~	6/28
	~~3-22~~	~~Philip~~	~~観察？~~	6/28
	~~3-23~~	~~Sylvia~~	~~大したことじゃないの……ちょっぴりふさいでるような気がしただけ。憂鬱そうな。~~	6/28
	~~3-24~~	~~Philip~~	~~それは大げさだな。~~	6/28
	~~3-25~~	~~Sylvia~~	~~気になることでもあるのかしらって。~~	6/28
	~~3-27~~	~~Sylvia~~	~~そんなんじゃないの。~~	6/28
	~~3-28~~	~~Philip~~	~~そう。~~	6/28
3-33	3-39	Philip	ないから。~~それはまあはっきりしてた。~~	6/30
	~~3-40~~	~~Sylvia~~	~~気が合うと思ったのに。~~	6/28
	3-41	Philip	~~だってしょうがないだろう？~~　相手は作家だし。とても知的で外向的、そうだろう？	6/30
3-4	~~3-54~~	~~Sylvia~~	~~まるで毛嫌いしてるみたい。~~	6/28
	~~3-55~~	~~Philip~~	~~異議あり。~~	6/28
	~~3-56~~	~~Sylvia~~	~~とことん嫌ってるみたい。~~	6/28
	~~3-57~~	~~Philip~~	~~どう言っても、わかってもらえないんだね？~~	6/28
	~~3-58~~	~~Sylvia~~	~~オリヴァーがかわいそう。~~	6/28
	~~3-59~~	~~Philip~~	~~彼を好きになることがどうしてそんなに大切なんだ？~~	6/28
	~~3-60~~	~~Sylvia~~	~~きっと気を悪くする。~~	6/28
	~~3-61~~	~~Philip~~	~~どうしてそんなに大切なんだ？~~	6/28
	~~3-62~~	~~Sylvia~~	~~あなたが毛嫌いしてるんじゃないかと思ったら。~~	6/28
	~~3-63~~	~~Philip~~	~~また大げさなことを。~~	6/28
	~~3-64~~	~~Sylvia~~	~~忌み嫌ってるって。~~	6/28
	~~3-65~~	~~Philip~~	~~どうしてそんなに大切なんだ？~~	6/28
			~~間。~~	6/28
3-5	3-78	Sylvia	ちがうの、あなたが仕事をしてるときに考えるの。昼間、ここにいて。~~この部屋に座って、~~お茶を飲んだりラジオを聴いたりしながら、仕事をしてるあなたのことを考えるの。あなたは茶色のスーツで、大きなアパートの部屋のすみにいる、お客さんは部屋を見て回ってる。そしてあなたは大きなドアに全部鍵をかけて、とぼとぼと会社に戻る。	7/2
	3-81	Philip	~~なんて妙なことを言うんだ、~~そんなおかしなこと。	7/2
	3-84	Sylvia	だから考えたのあなたのことを、~~そして~~何があなたを幸せにするのか。	7/2
3-6	~~3-105~~	~~Sylvia~~	~~お願いだから。~~	7/2
3-7	~~3-106~~	~~Philip~~	~~疲れてる。明日も一日忙しいし。~~	7/2
	~~3-107~~	~~Sylvia~~	~~お願い、待って。すこしだけ。~~	7/2

3-10	~~3-108~~	~~Philip~~	~~七時には起きないと。~~	7/2
	~~3-160~~	~~Sylvia~~	~~まるで重いインフルエンザ~~	7/2
	~~3-161~~	~~Philip~~	~~ほかに話したいことは？　もう行ってもいいかな？~~	7/2
	~~3-162~~	~~Sylvia~~	~~無理に引き留めたつもりはなかった。~~	7/2
	~~3-163~~	~~Philip~~	~~いてくれって君が頼んだんだ。　どう見ても躍起になってた、その奇天烈で、奇妙な考えを伝えようと、それがすんだかどうか僕は単純に訊いてるだけだ。~~	7/2
4-1	4-7	Sylvia	マリオが空港に着いたとこなの。これからデート。それからお泊まり。~~いかにもだけど、さみしかったから。~~	7/2
4-2	4-13	Sylvia	あんた、ウンコみたい。	6/28
4-3	4-25	Sylvia	ごめん~~、おへその下で~~ブルブル言ってる。	7/2
4-4	~~4-40~~	~~Oliver~~	~~いかにもハーレクイン・ロマンス。~~	7/2
4-5	4-56	Oliver	べつに会話とかしない。 そいつの世界観認めたりしない。おっしゃるとおりホロコーストなんてなかったよね、とか言わない。しゃぶってやるだけ~~、そいつに投票するわけじゃない~~。	7/2
	4-57	Sylvia	全面的にフィリップの味方~~だね。~~	7/2
	4-58	Oliver	とにかくさ、あんたがいま選んだシナリオは最悪。~~変なマニアとか赤ん坊殺しとか。何でもいいけど。そんなの例外だよ。だって、男のほとんどは、サウナとかにいる男のほとんどは、あんたや僕と変わんない。~~だいたいなんでファシスト・マニア選ぶかな？　ピアニストで、お金を全部セーブ・ザ・チルドレンに寄付してる人かもしれないじゃん？	7/2
	4-94	Oliver	昔ゲイ雑誌の文通欄を見てたのね。ずっと昔。フィリップより前。そしたら一人目に留まってさ。~~こんな感じの~~――「ゲイ、三十三歳、ノンスモーカー、趣味はボンデージ、疑似レイプ、レザー、ラバー、チェーン、リミング、フェルチング。恋人募集中。それが僕の人生。	7/2
4-9	~~4-115~~	~~Oliver~~	~~沈んじゃう。~~	7/2
	~~4-116~~	~~Sylvia~~	~~「沈んじゃう」？~~	7/2
4-10	~~4-131~~	~~Oliver~~	~~どうなっちゃうんだろう？~~	7/2
4-11	~~4-153~~	~~Oliver~~	~~べつに朝目が覚めたら敬虔なクリスチャンとかムスリムとかそういうものになってやるっていうんじゃない。いきなり頭ツルツルにしてお経唱えたりしない。だけど何かが必要なんだよ、何かの悟りが。だってさもないと、ほんと、サイテー、こんなのもたない。~~	7/2
4-12	~~4-154~~	~~Sylvia~~	~~何が？~~	7/2
	~~4-168~~	~~Oliver~~	~~ありがと。ありがと。ありがと。~~	7/2
	~~4-169~~	~~Sylvia~~	~~わたしにはわからない、なんで。どういうわけで~~	7/2
	~~4-170~~	~~Oliver~~	~~ほんとにありがと。~~	7/2
	~~4-171~~	~~Sylvia~~	~~――あんたは抜け出せないのか~~	7/2
5-1	~~5-3~~	~~Philip~~	~~ずぶ濡れじゃないか。~~	7/2
	~~5-4~~	~~Oliver~~	~~うん。~~	7/2
	~~5-5~~	~~Oliver~~	~~来るつもりはなかった。僕たち……~~	7/2
	5-10	Philip	~~二人で決めたんだ、~~こんなことよくないって。	7/2
	~~5-12~~	~~Philip~~	~~ずぶ濡れじゃないか。~~	7/2
	~~5-13~~	~~Oliver~~	~~ぼうっとしてて。~~	7/2
	~~5-14~~	~~Philip~~	~~びしょびしょだ。~~	7/2
	~~5-15~~	~~Oliver~~	~~図書館に傘を忘れて。~~	7/2
5-2	~~5-21~~	~~Oliver~~	~~君に話さなきゃいけないんだ、フィリップ。~~	7/2
	~~5-22~~	~~Philip~~	~~まだ言うことがあるとは知らなかった。~~	7/2
	~~5-26~~	~~Oliver~~	~~僕はどうしても……~~	7/2
	~~5-27~~	~~Philip~~	~~何？~~	7/2
	~~5-28~~	~~Oliver~~	~~何でもない。僕は思ったんだ……できれば……~~	7/2
	~~5-29~~	~~Philip~~	~~できれば何？~~	7/2
			~~間。~~	7/2
5-3	~~5-34~~	~~Oliver~~	~~僕は人生ずっと待っていた、何かの確証を、自分は一人じゃないっていう。~~	7/2
	~~5-35~~	~~Philip~~	~~そう。~~	7/2
	~~5-36~~	~~Oliver~~	~~それが見つかれば、その確証が見つかれば、二度と……僕は二度と――僕は来なきゃならなかった。君に会いに。ごめん。~~	7/2
	~~5-37~~	~~Philip~~	~~勘弁してくれ。~~	7/2
5-4	5-47	Philip	二人で決めたんだ。~~君は~~……僕はお願いした、そんな話はしないでくれって。	7/2
	5-60	Philip	~~たしかに~~倒錯だ。	6/25
	~~5-69~~	~~Oliver~~	~~二人でいるとき。二人で会うたび。そのたびいつも。話をするとき。~~	7/2
	~~5-70~~	~~Philip~~	~~もう終わったことだ。~~	7/2
	~~5-71~~	~~Oliver~~	~~それ以上のものだって気づいた。徐々にわかった……~~	7/2

5-5	~~5-72~~	~~Philip~~	~~勘弁してくれよ……~~	7/2
	~~5-73~~	~~Oliver~~	~~二人の人間のあいだに起きることは神聖なものにもなるんだって。そしてかけがえのないものに。その二人の人間が誰であるかは問題じゃない。~~	7/2
			~~間。~~	7/2
	5-75	Philip	~~たしかに~~間違いだ。	6/25
5-6	~~5-80~~	~~Philip~~	~~聞きたくない。~~	7/2
5-7	5-89	Oliver	僕は思った、ああいう男たちのなかには、~~君も見ればわかるはずだ、ああいう男たちのなかには、~~あの薄暗がりを徘徊して待ってる男たちのなかには、選んでやってる人間もいる、たぶんたいていはやりたくてやってる、だけどそれは知らないからだ、どこで……どうすれば見つかるか、しかも自分はしょせんそういう人間だって言われているから、自分は暗がりに立って誰かに触るのを、べつの男の肌に触るのを待ってる人間だって、だから自分はそれだけの人間だと思い込んでる、だけど彼らが求めているのは、彼らが本当に求めているのはそれ以上のもの、僕らがいま手にしようと思えばできるもの……だれかとの深いつながりなんだ、せめてそこにしがみつくことが出来たら。	7/2
	5-91	Oliver	だって出会った瞬間から~~君だけが僕の本当の名前を知っていたように~~感じたんだ、~~まるで君だけが僕の本当の名前を知っていたように。~~	6/26
	5-93	Oliver	まるでおたがい~~僕らは~~同じ言葉を話しているような。	6/26
	~~5-94~~	~~Philip~~	~~でも僕はそうは感じない、オリヴァー。~~	7/2
	~~5-95~~	~~Oliver~~	~~本当に？~~	7/2
	~~5-96~~	~~Philip~~	~~そうだ、オリヴァー。僕はちがう。僕はちがう。僕はちがう。~~	7/2
5-8			間。	7/2
	5-97	Philip	なあ、オリヴァー、僕はシルヴィアを愛してる。シルヴィアも僕を愛してる。僕らは夫婦でお互い愛し合っている。これまでのことは……~~つまり僕らのあいだに、君と僕のあいだに、オリヴァー、~~僕ら二人のあいだに起きたことは単なる過ちだった。君が何と呼ぼうとかまわない。一瞬の弱さ。弱さ。それだけだ。	7/2
	5-99	Philip	いろいろ言ったかもしれない、オリヴァー、でも残念ながらきっと本気じゃなかったんだ。だって、僕は正気じゃなかった。取りつかれたようだった。ただわかってほしい、僕は君のことを悪く思ってはいない。~~うらみもない、悪意もない。愛情だってある。~~君はまともな男だって信じてる。僕をそそのかしたとも、誘惑したとも、悪気があったとも思わない。僕にだって責任はある。二人ともが過ちを犯したんだ。それだけ。君の幸せを祈ってる、オリヴァー。でも何が起きたかを思い出すと……正気を取り戻したいまになって、~~僕らのあいだに何が起きたか、~~僕ら二人のあいだに起きたいろんなことを思い出すと、恥じる気持ちでいっぱいになる。吐き気がする。	7/2
	5-103	Philip	もちろん、友人として思ってくれるのはいい。それは僕も同じだ。~~君を好きになって尊敬するのはいい、尊敬しようとするのは、友人として。~~でもそうじゃなくて……君がさっき話していたこと……そういう場所、そういう連中。	7/2
	5-105	Philip	そういう場所……さっき雄弁に語ってくれた場所。そいつらは僕とはちがうし僕もそいつらとはちがう。僕に正直になれと言うなら、オリヴァー、~~正直に真実を言えってことなら、~~あいつらには身の毛がよだつ。~~言いすぎじゃない。君には正直に言わせてもらう。~~あわれだとは思うけど身の毛がよだつ。見たことはあるよ……実際よく見る。気づいてる。人ごみでもバスでも通りでも、僕は吐き気がする。あいつらの歩き方、人を見る目つき、~~みんないっしょだ。~~僕はあいつらとはちがう、オリヴァー。そして君もきっとちがう。だからお互いこのことは水に流さないと。それがいい。絶対にそれがいい。	7/2
5-9	5-107	Philip	いつの日か感謝してくれるだろう。~~理解してくれるだろう、~~これはある意味、君を守るためだってことを。君自身から。~~君はきっと理解する。~~僕なりの妙なやり方だけど、これは僕から君への贈りものだ。別れの贈りもの。	7/2
5-11	5-129	Oliver	だから、その夢を見るようになったのはいつだろう？　十七歳、十八歳、いつ？　もしかすると大人の男になろうとしていたころ。自分自身を見つけたころ。自分が本当は誰なのか、人生に何を求めているのか。大平原、君は思った。アフリカの大平原。悪い場所じゃない。そこにいる君が見える。この国は狭い。君にはもっと広い場所が必要だ。深呼吸できる場所。だから君は旅立つ。僕には見える。ブライトンより遠くへは行ったことがないって言っていたけれど、僕には見える、君ははるかかなたにいる。冷たい海峡を渡り、地中海を渡り、夢見たアフリカの大地に立ってる。そこで何をしてる？　農業？　狩り？　教師？　きっとそんなことはどうでもいい。そういう場所で、そういう空の下で君はとうとう発見する、自分は何のためにそこにいるのか。~~ひとりになってはじめて。~~	7/2
5-13	~~5-163~~	~~Philip~~	~~ごめん、ごめん、ごめん。~~	7/2
5-14	~~5-168~~	~~Philip~~	~~いいじゃないか。いま、ここで。こうなることが望みなんだろう？　僕にこうなってほしいんだろう？~~	7/2
7-2	~~7-27~~	~~Sylvia~~	~~きっとフィリップは、わたしがすっかり狂ってしまったと思ってる。~~	7/2
			~~間。~~	7/2
7-4	~~7-40~~	~~Sylvia~~	~~なにか疑いをもつことがある。そんなとき人は忘れようとする。どこかでわかってはいても、認めてしまうと人生がうそになってしまう。すると……~~	7/2
	~~7-41~~	~~Oliver~~	~~すると……~~	7/2
	~~7-42~~	~~Sylvia~~	~~するとずっと頼りにしていた土台が、歩いていた地面、自分のために建てた家、何もかも、壁も家具も吸ってる空気も何もかも、現実とは思えなくなる。そうして真実にまぎれたうそを見分けられなくなる。少なくとも真実ではないとわかっているものを。見せかけのものを。人生はおそろしい仮面舞踏会のようになる。そのことに耐えられなくなる。~~	7/2
	~~8-3~~	~~Sylvia~~	~~ったく。~~	7/2
	~~8-4~~	~~Oliver~~	~~そっちのほうがいい。~~	7/2

8-1	8-16	Oliver	僕のフェアウェル・ツアー。言ってみりゃ差し入れ。大勢いるファンの一人から。でもダークな趣味の持ち主でさ。あんたって予言の天才だね、ミス・ノストラダムス 。何党に投票してるやつか知らないけど、なんちゃってリベラルですらない。原始人、そう呼ぶのが正しい。ピンストライプのスーツ着て髭も剃ってるけど、絶対そう。あんなぴかぴかのレースアップ・シューズ見たことないよ。いまどき見た目じゃわかんねーわ。ほら穴から這い出したばかりには見えない。~~汗のにおいはぎりぎり感知したけど、まろやかなアクア・ディ・ジオの香りに紛れて。~~	7/2
8-6	8-92	Sylvia	どういうの？	7/2
	~~**8-93**~~	~~**Oliver**~~	~~ちょうど眠りに落ちるとき、夢が始まる直前。それかたぶん目覚めた直後、目はひらいてるけど、意識はまだ夢のなかにいるとき。~~	7/2
	~~**8-94**~~	~~**Sylvia**~~	~~何？~~	7/2
	8-97	Oliver	そういうとき感じるんだよね、たった一つ大事なことは意味を見つけることだって、~~理由をね、~~はかなさにビンタ食らわす何かを。自分はここにいたって言うために。存在したんだ。いたんだって。たぶんその方法は二つしかない——仕事、それから人との関わり。どれだけ人を変えたか。どれだけ変えてもらったか。どれだけ踏ん張ったか。お互いに。せめて精いっぱいやってみたか。それで花火の美しさは決まる。	7/2
10-1	~~**10-1**~~	~~**Sylvia**~~	~~で、バスに乗ってら、一人ブロンドの女の子がね、十五歳くらいで、おっかなくて熱烈なファンクラブに囲まれて、その子でっかい声で三言目には「ゲイ」って言うの。それってゲイ、あれってゲイ、何もかもゲイ。その歌ゲイだわー、あのドラマってゲイだわー、このサンドイッチ、ゲイだわー。だからわたしちょびっと勇気を出して振り向いて、高圧的にならないよう言ったの、「すみません……」~~	7/3
	~~**10-2**~~	~~**Oliver**~~	~~申し訳ありません。~~	7/3
	~~**10-3**~~	~~**Sylvia**~~	~~申し訳ありません、でもお願いします、そういう文脈で「ゲイ」って言葉を使わないでくださいますか……~~	7/3
	~~**10-4**~~	~~**Oliver**~~	~~ゲイ、イコール、ダサい。~~	7/3
	~~**10-5**~~	~~**Sylvia**~~	~~せめてよく考えてからにしてください、あなたにはちょっとわからないのかもしれないけど、傷つく人が大勢いるしわたしも不愉快です。~~	7/3
	~~**10-6**~~	~~**Oliver**~~	~~よく刺し殺されなかったね？~~	7/3
	10-41	Oliver	~~彼女が知るべきはそれで十分。~~それだけわかればお腹いっぱい。	7/3
10-4	10-47	Sylvia	マリオに愛されながら思うのね……この愛から何か生まれるとしたら……この愛がそういうかたちで実を結ぶとしたら、だったらその覚悟はできてるし、それは素晴らしいことだ、てゆーか、幸運でしょ、贈りものだもん。神様からの。命って。~~何でもいいけど。~~	7/3
	10-49	Sylvia	でもそうならなくても、~~てゆーか、~~授からなくても、~~授からないことになったとしても~~かまわない。いまわたしたちが手にしてるもので十分、ってこと。	7/3
10-5	~~**10-61**~~	~~**Oliver**~~	~~手術は成功。僕の腕はあんたの腰から切除されました。~~	7/3
	~~**10-62**~~	~~**Sylvia**~~	~~せいせいした。~~	7/3